

令和6年度 第2回県政参画電子アンケート  
「認知症」に関するアンケート  
結果概要

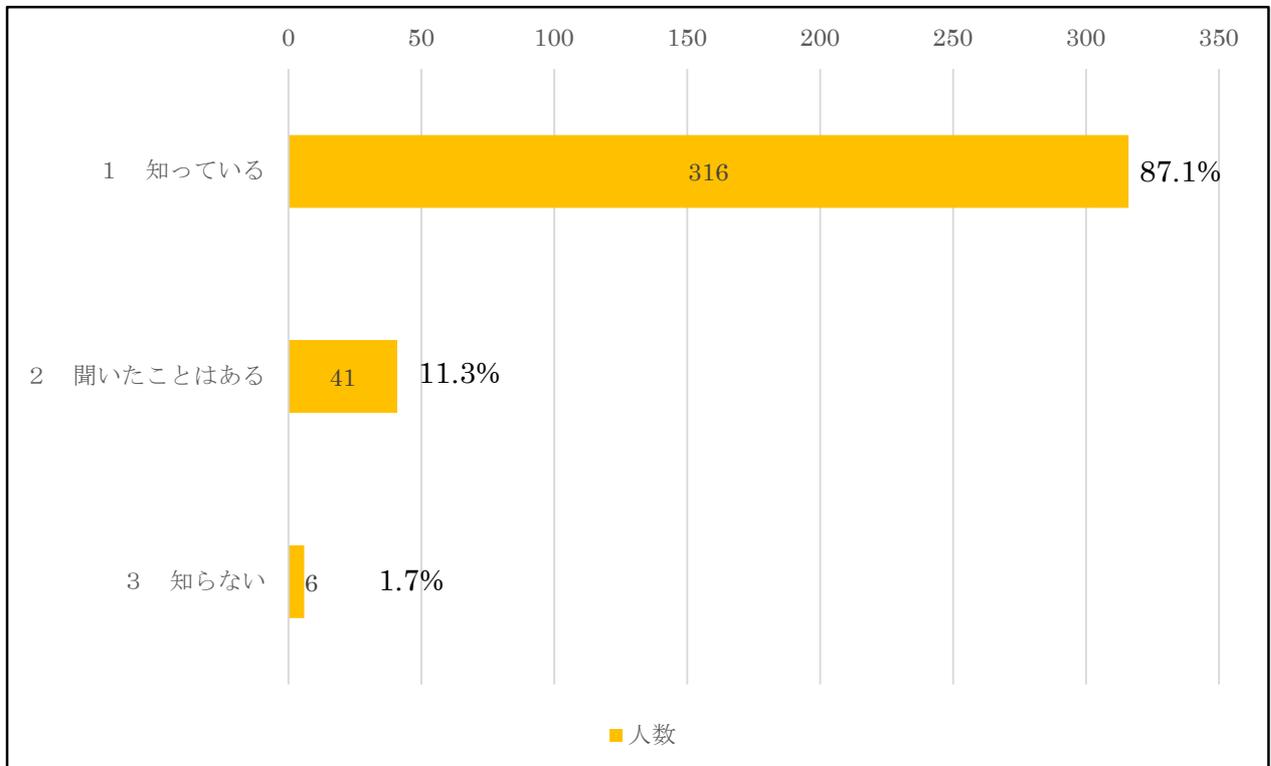
1 調査概要

- テーマ 「認知症など」に関するアンケート
- 実施期間 令和6年9月6日～9月17日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 634名
- 回答数 363名(回答率 57.26%)

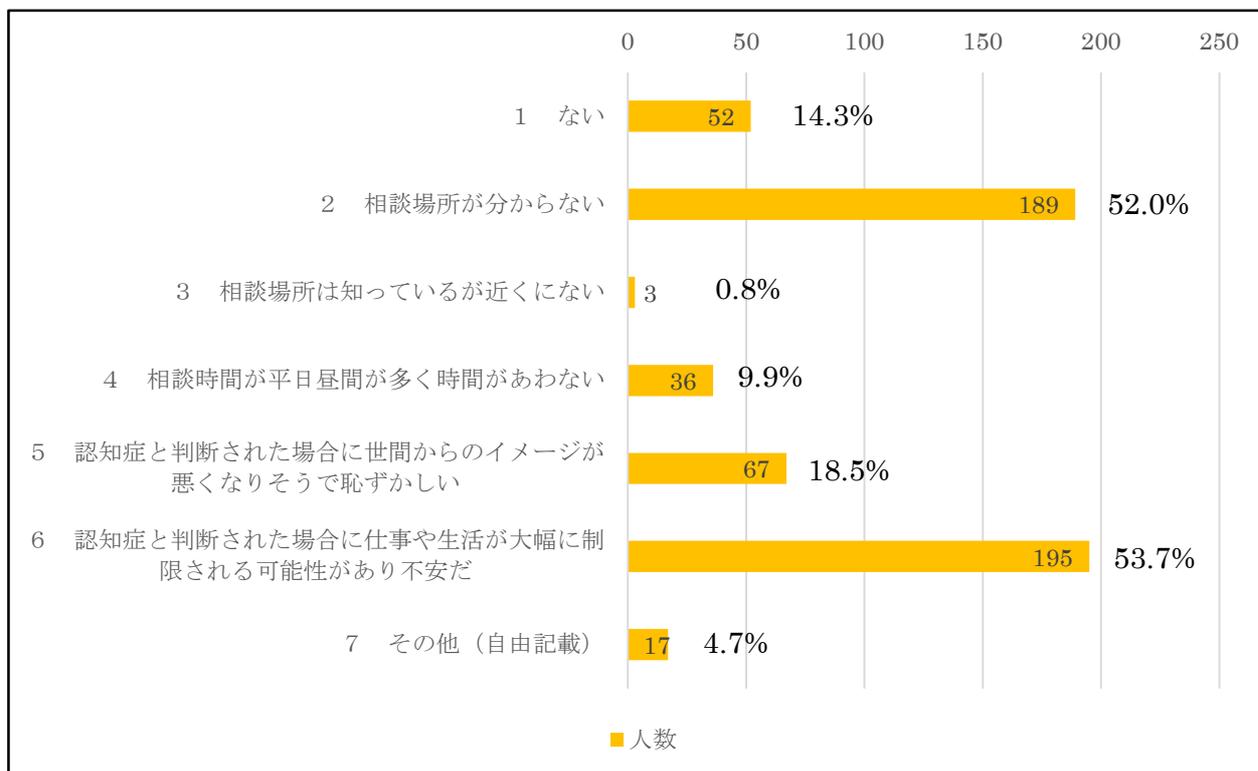
2 目的・概要

認知症の人が自分らしく暮らし続けられる地域をつくるため、令和5年度に施行された認知症基本法に基づき、県及び市町村において認知症の方及び家族が参画した施策を実施しました。  
については、認知症及び認知機能の低下に関する県民の皆さまのお考えを把握するためにアンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。

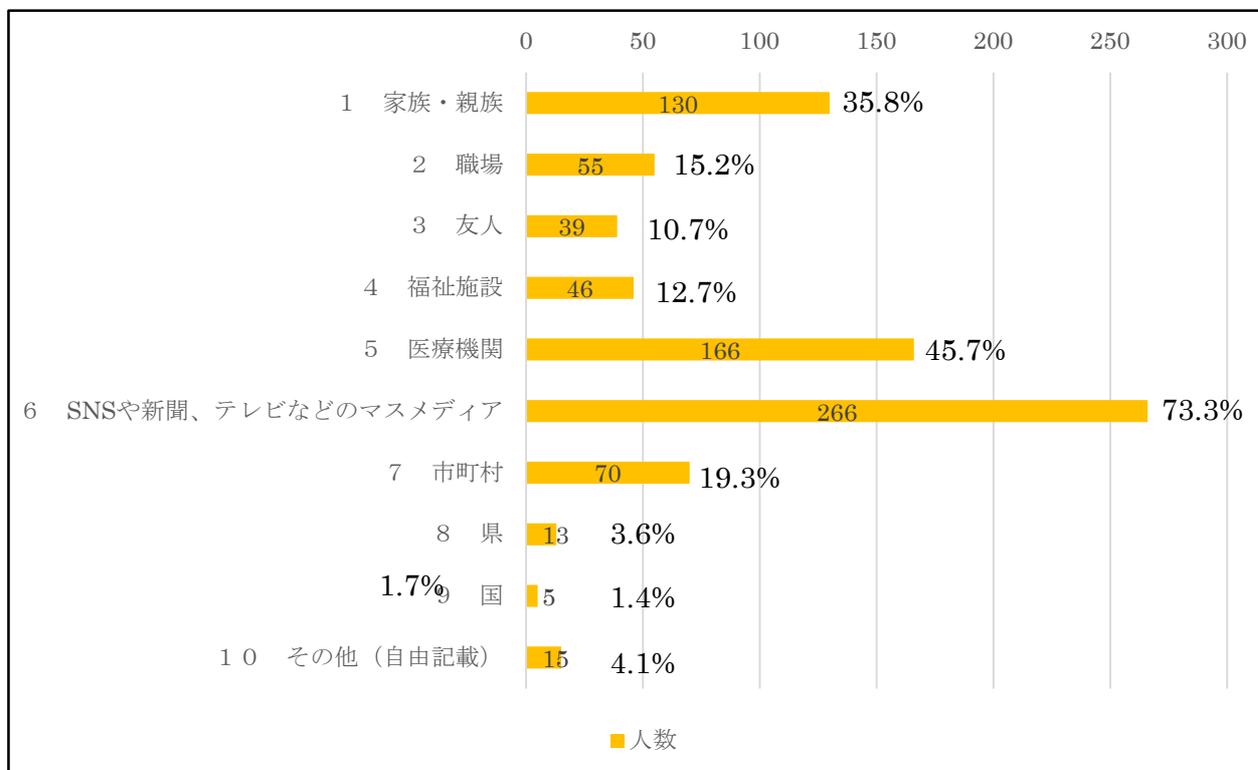
【問1】 「認知症」とは、様々な脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能(記憶、判断力など)が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。65歳以下で発症する若年性認知症や、老化による影響が大きいと言われているアルツハイマー型認知症、その他にも認知症となる原因は事故や病気等さまざまですが、認知症は誰でもなりうる病気であるということをご存知ですか。



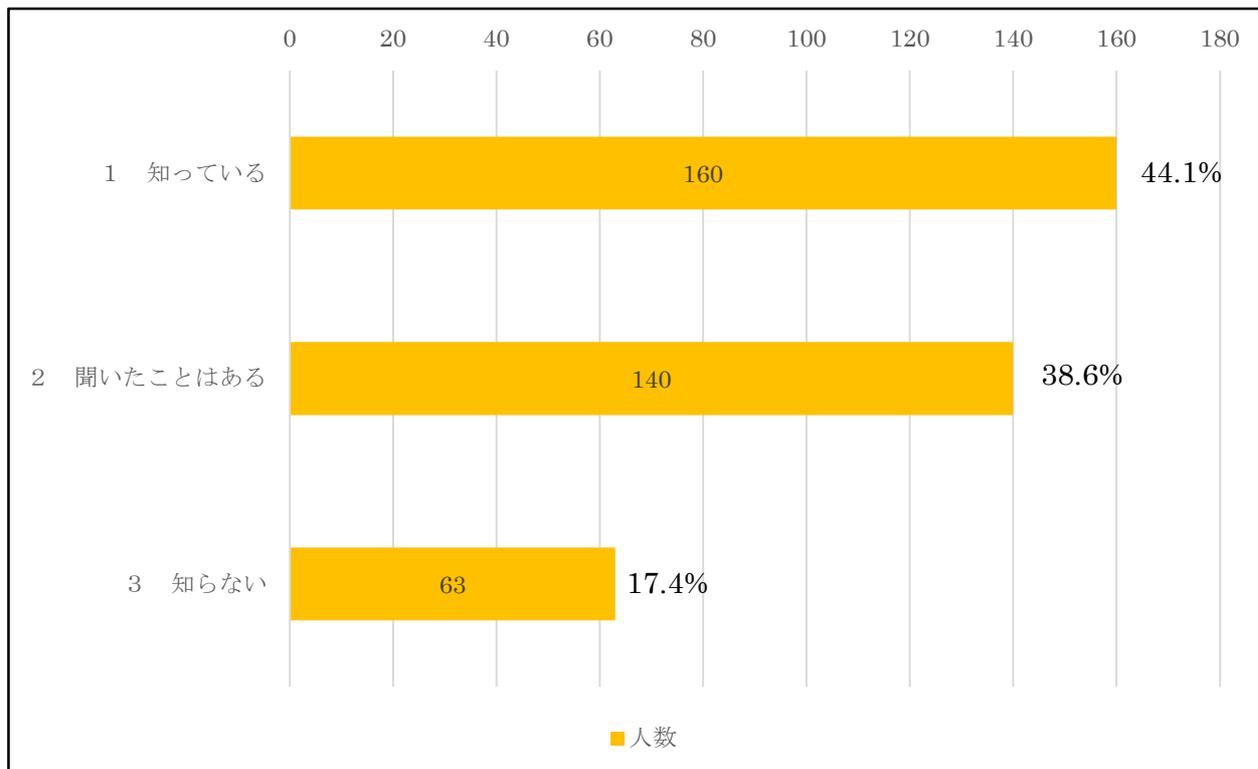
【問2】 将来あなたは物忘れが気になったとき、相談場所に相談を行う際に困ると思うことはありますか。



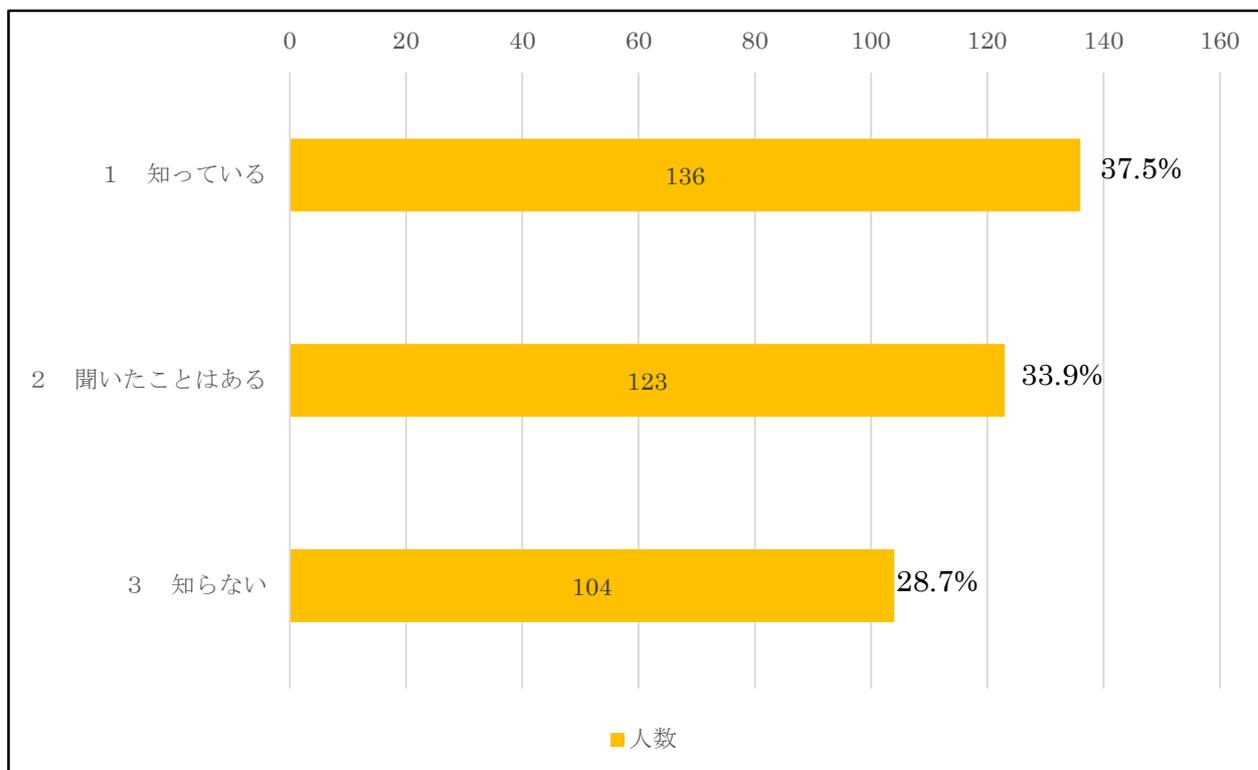
【問3】 あなたが認知症について知るための情報を得る主な方法を教えてください。



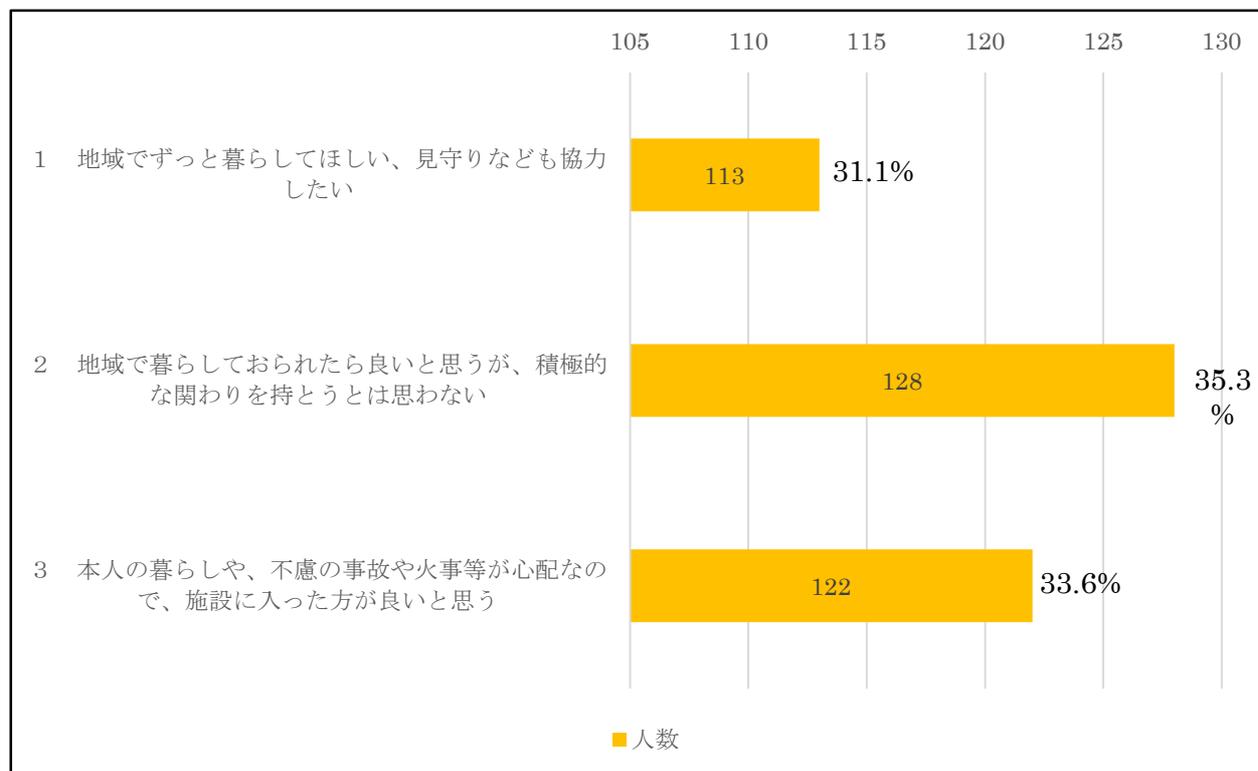
【問4】 あなたは認知症と診断されても医療、福祉等の対処によっては認知機能の大幅な低下を防いだり、進行を遅らせることが可能な場合があることをご存じですか。



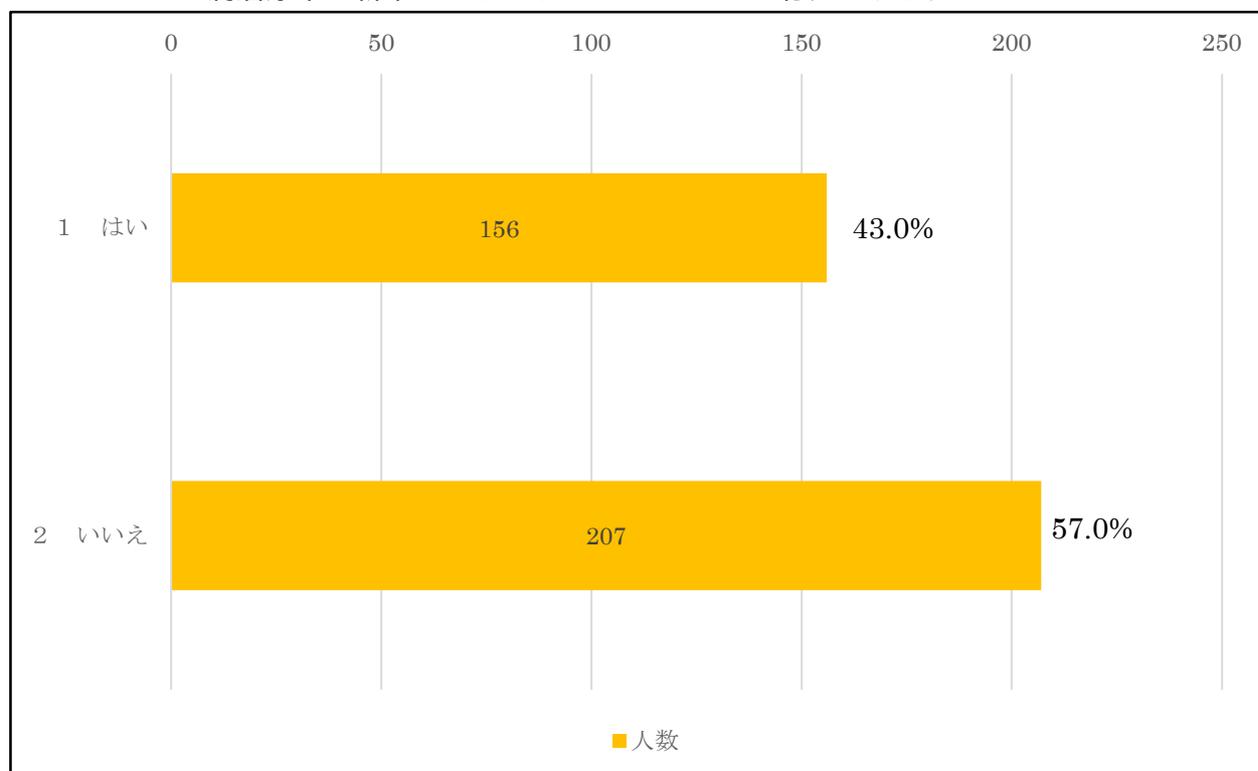
【問5】 あなたは認知症と診断されても、早期に関係機関へ相談することで、生活の工夫や、周囲のサポート、介護サービス等を活用しながら、住み慣れた地域で暮らし続ける方が多くいらっしゃることをご存知ですか。



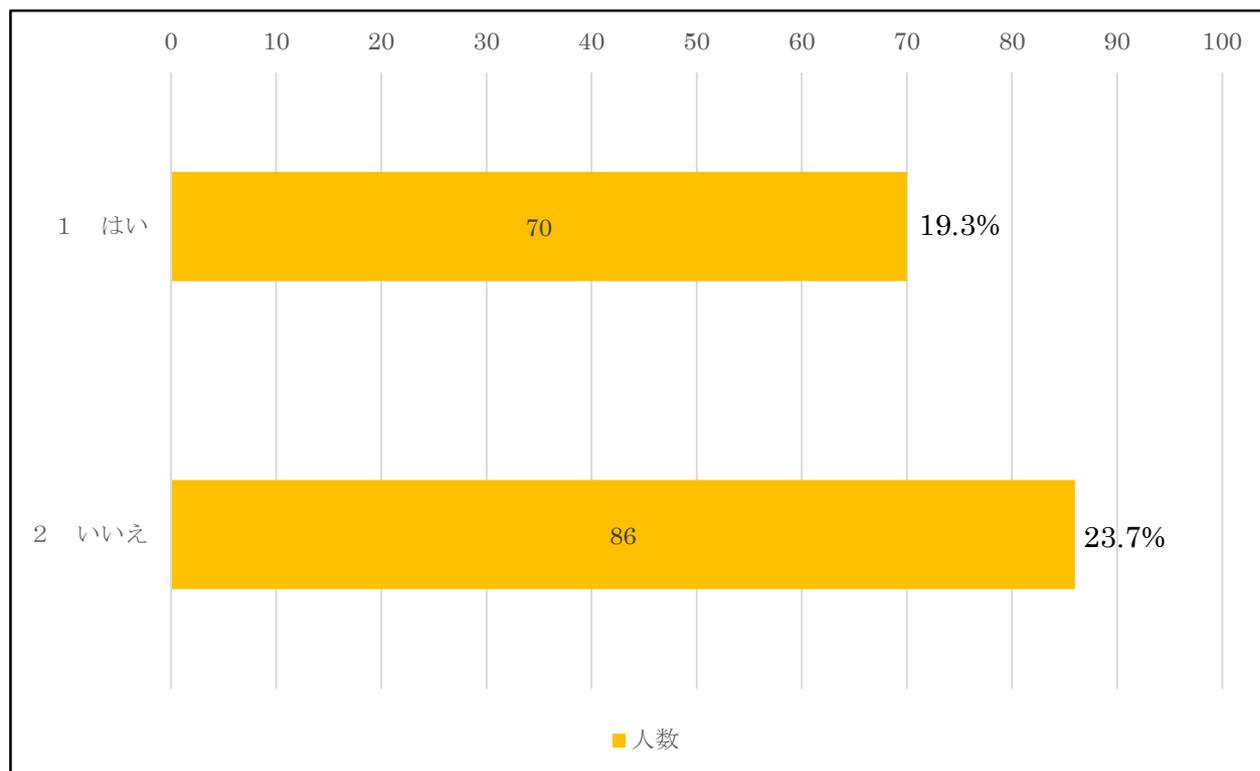
【問6】 認知症は、加齢などに伴い誰もがかかり得る病気です。ご近所に認知症の方が暮らしている場合の、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



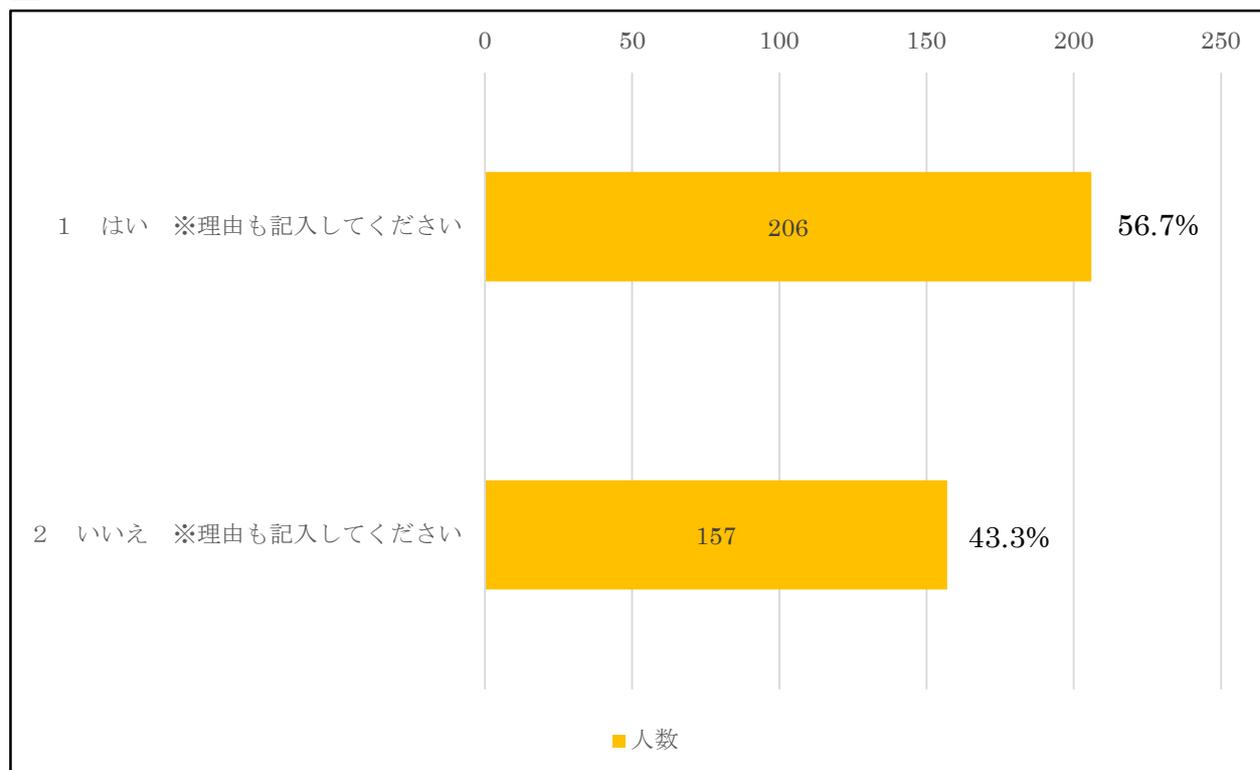
【問7】 アルツハイマー病治療薬の新薬であるレカネマブについてご存知ですか。



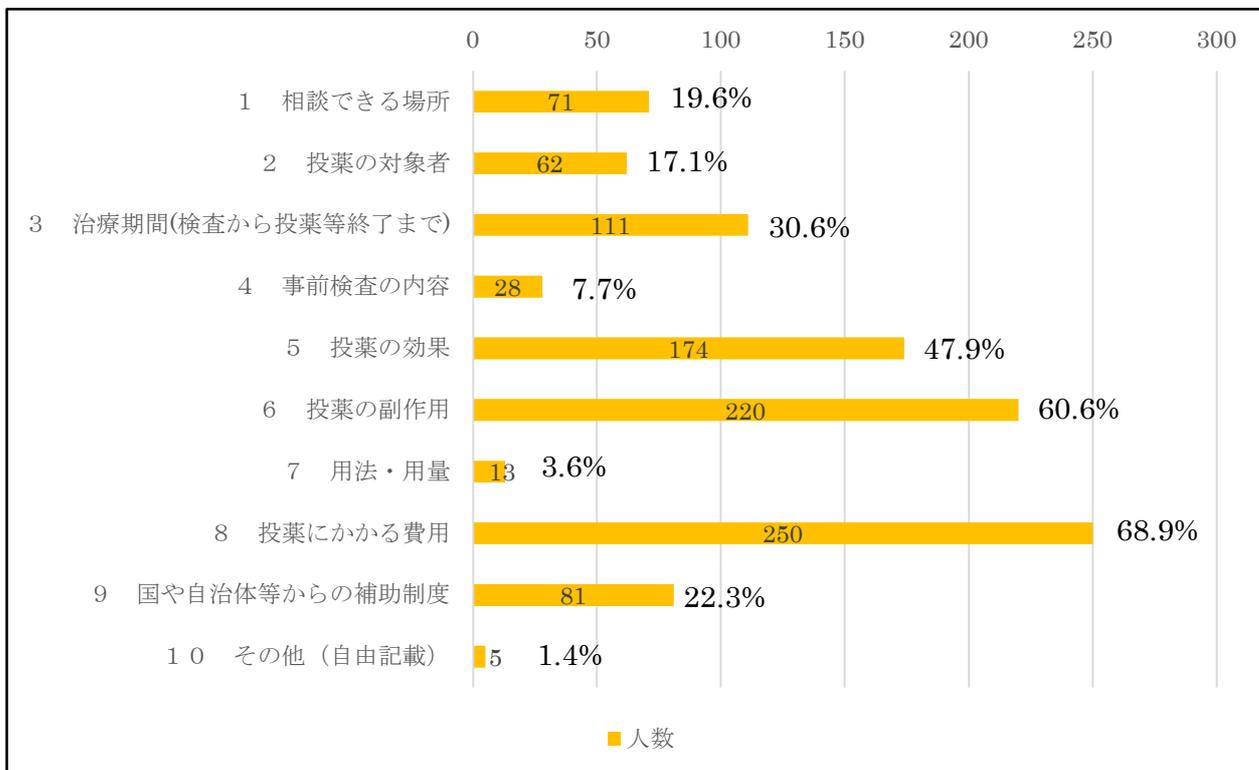
**【問8】** 問7で「はい」と答えた方へお伺いします。レカネマブは脳のむくみや脳の一部の出血等の副作用のリスクがあるため、投与する前または投与中、定期的に MRI 検査等が必要となり、専門医による診断が必要なことはご存知ですか。



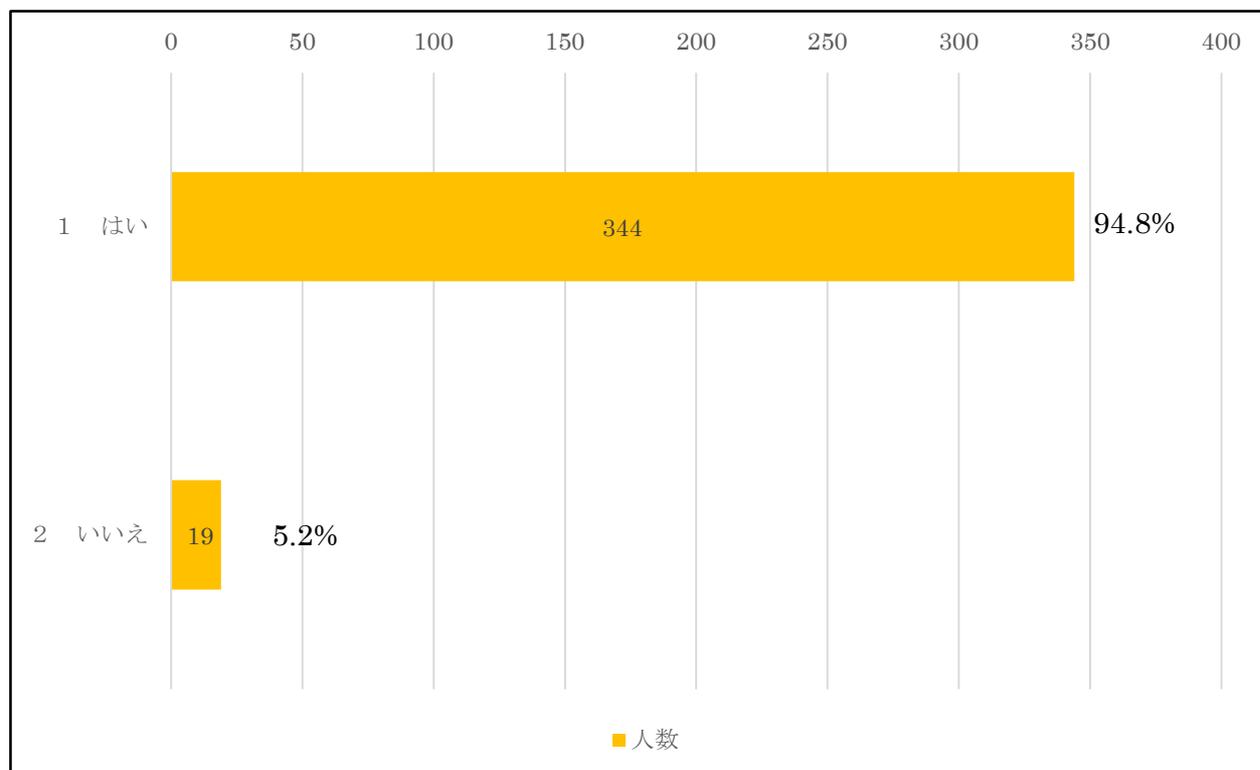
**【問9】** レカネマブの投与によりアルツハイマー病の 18 カ月時点の症状の悪化を 27%抑制させる効果があるといわれています。もし、投与対象となった場合に副作用のリスク(参照:問8)を承知の上で治療を希望しますか。



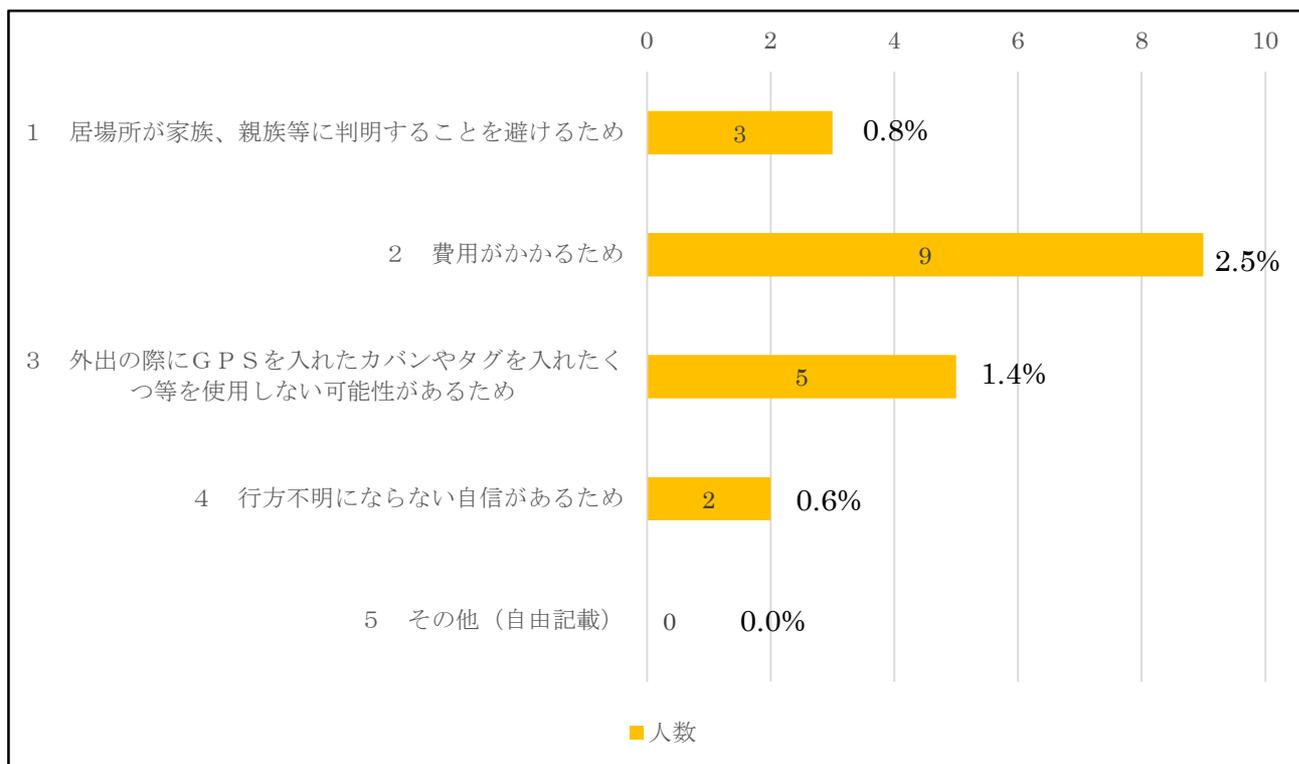
【問10】 あなたはレカネマブについてどのような情報を知りたいですか。



【問11】 GPSや、スマホの機能を利用した硬貨サイズのタグを外出時の認知症本人の鞆等へ取り付け、御家族等が位置情報を把握することで行方不明時の早期発見に繋げることができます。使用には、本人の了解を得る等プライバシーに十分配慮する必要がありますが、あなた自身の認知機能が低下した場合は取り付けたいと思いますか。



【問12】 問11でいいえと答えた方へお伺いします。その理由についてあなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



【問13】 このほか、認知症について感じる事があれば以下にご記入下さい。

※自由記載のため省略